

主な議案審議状況

議案第33号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）について

新型コロナウイルス感染症対策のための早急な対応を要する費用

○特別定額給付金給付費 199億6,000万円

○特別定額給付金給付事務費 1億7,200万円

(概要) 国の緊急経済対策に伴う市民への経済対策として、1人当たり10万円の特別定額給付金の給付に要する費用を計上するもの。

質疑 郵送による申請への対応を早めることはできないか。いつ頃給付されるか。また、外国人世帯への対応は。

答弁 郵送による申請について、5月19日から申請書を順次発送し、給付開始は6月上旬を予定しているが、できるだけ早期に給付できるよう努力する。外国人世帯については、外国語版のパンフレットを市ホームページに掲載するほか、タブレット端末を使用したオペレーターによる通訳を活用する。

○事業者向け緊急家賃等給付金事業費 1億6,300万円

(概要) 業況の悪化から事業の継続のために融資を受けた事業所などに、テナント料などの家賃の一部を20万円を上限として給付する費用を計上するもの。

質疑 「国による同種の事業が実施された場合は、終了を検討」とあるが、現在検討されている国の制度は、給付要件や対象期間が違う。こうした場合も同種の事業と判断し終了するのか。

答弁 当該給付金は、小規模事業者などの方々の重荷になっているテナント料などの負担を軽減するため、国の制度が始まる前のできるだけ早い時期に給付したいと考えている。終了時期については、国における家賃補助の詳細が決まり次第、対応を検討していく。

○新型コロナウイルス対策マスク配布事業費 3,100万円

(概要) 市民の感染防止対策として、災害時要援護者台帳の登録者を対象にマスクを配布するために要する費用を計上するもの。

質疑 マスクの購入費を50枚入1箱3,000円に設定した根拠は。

答弁 一定の品質を確保して9,800箱（49万枚）を短期間で調達することを前提に考えたところ、1枚当たり60円程度が現時点での平均的な価格と判断した。



○新型コロナウイルス学校内感染防止対策事業費 935万円

(小学校費 643万5,000円／中学校費 291万5,000円)

(概要) 児童・生徒、教職員の学校内での感染防止のため、フェースシールドなどの購入に要する費用を計上するもの。

質疑 フェースシールドは、どのような状況での使用を想定しているか。 フェースシールド

答弁 給食の配膳時や、児童・生徒が授業で実験や実習を行う場合など、やむを得ず対面する活動を行うとき、支援員・介助員などが児童・生徒を支援するときに、児童・生徒や教職員などが使用することを想定している。

